

気持ち新たに 新成人が晴れの門出

～にかほ市成人式～

1月13日、象潟シーサイドホテルを会場に平成25年にかほ市成人式が行われました。式典には、新成人226人が出席し、会場は再会の喜びを分かち合う姿が多く見られ、笑顔で溢れていました。

式典では成人証書授与にあたり中学校時代の恩師による点呼が行われ、自分の名前が読み上げられると、しつかりとした声で返事をし、成人証書と記念品が代表の渡辺詩織さん（新丁1区）に授与されました。

横山市長は式辞で「これからの人生において、多くの困難があるうとも失敗を恐れず夢や希望に向かって歩んでください。また、にかほ市を発展させるためには新成人の皆さんがふるさとに誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域や社会活動に積極的に参加することが必要です。皆さんの柔軟な発想と行動力が発揮されることを大いに期待しています」と述べました。

また、新成人誓いの言葉を六平希さん（小国）が「大人としての自覚を持ち、責任のある行動を心がけるとともに、出会いを大切に、これからの人生を力強く歩んで行きたい」と宣言。

式典の最後では市民憲章を代表の本多葉月さん（塩焚浜）に続いて全員で唱和し閉式となりました。

寒さを気合いで吹っ飛ばせ

～市内空手団体寒稽古～

この時期恒例となっている市内空手団体の寒稽古が平沢海水浴場と小滝集落で行われ、子どもを中心に93人の道場生などが鍛錬に励みました。

12日に武人修練空手道円掣会が市外3つの空手団体と合同で、13日には剛柔流空手道志会がそれぞれ平沢海水浴場で稽古を行いました。両会ともに素足で道場からランニングで登場し、基本動作などで気合を入れ、いざ荒波の中へ。腰まで漬かり突きや蹴りの練習を繰り返していました。

27日には小滝集落で沖縄武道空手研心会が寒稽古に励み寒空の下、道着を身にまとった子どもたちが白滝旅館から奈曾白橋までランニング。そこから深い雪をかき分け奈曾川に膝まで入水し、大きな掛け声とともに突きと蹴りの稽古を行いました。

参加した子どもたちは、体を震わせながらも一生懸命に基本動作の稽古に励み、心身を鍛錬しました。

武人修練空手道円掣会

剛柔流空手道志会

沖縄武道空手研心会

今年は雨のしんぺいらねぞ。

～小滝：金峰神社まんだらモチ占い～

1月7日、小滝集落の金峰神社で恒例の「七日堂曼荼羅モチ占い」が行われました。これは600年以上も続く同神社の伝統行事で、モチの出来映えなどから米の作柄や天候などを占うもの。この日は関係者40名のほか、アマチュアカメラマンなどが占いを見守りました。

いよいよ餅が披露されると、厚さも良く色つやも十分なことから「作柄は平年以上だ。市の西方面は豊作だ！」などと声が上がりました。続いて油を染ませたお札を餅の上で焼き、その炎の状態から「風はやや強いが台風の心配はない。雨の心配もない」と予想されていました。



かつて政権交代を当てた伝統行事。今年はいかに…

家内安全・無病息災を願う「あまはげ」

～赤石地区小正月行事～

赤石地区で1月12日、地区の小中学校の男子児童・生徒らが行う小正月行事「あまはげ」が行われました。

墨で顔を真っ黒に塗り、口紅をつけ、蓑をまとった中学生2人が扮する「あまはげ」は、後ろに続く児童らの「あまはげきたじゃ、ぜんだら5文、酒だら1升、しな餅えらね、ええ餅ようだ」の声と太鼓、ジャガの音と共に地区の家々を回りました。「あまはげ」は連打する太鼓と小学生らが叫ぶ「あー」の声に合わせ、神棚の前や玄関で15回飛び跳ね、各家々の1年間の無病息災と家内安全を祈りました。



家々の神棚の前や玄関で15回飛び跳ねる

新成人の声～voice～



齋藤 柎平さん
(横根)

20代で自分の会社を持つ目標に向かい日々様々なことを学んでいます。また、私の仕事は体が資本なため、これまで以上に健康に留意し頑張っています。



伊藤愛一郎さん
(岡の谷地2区)

無事に成人を迎えられたことは、両親や友人のおかげと感謝しています。将来は親が営んでいる電気店を継ぎ、にかほ市を明るく照らしたいと思っています。(笑)



矢野 珠菜さん
(上狐森)

私は今、看護師になるという目標に向かつて勉強を頑張っています。これからは今以上に、優しく思いやりのある人間に成長していきたいと思っています。